

（注）このミニレポートは、当金庫が自主的に開示するものです。計数は、単位未満を切り捨てるなどして表示していますので、合計が一致しない場合があります。

いつも湘南しんきんをご利用いただきありがとうございます。私たちは、いつも「街に、皆さまに、いい風」をおくり続けたいとの想いを込めて日々業務に励んでおります。元気でさわやかな湘南しんきんをもっと知っていただくため、2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日）における事業概況についてご報告いたします。

皆さまに選ばれる金融機関を目指し、正確で分かりやすい情報開示を行ってまいります。皆さまと共に歩む湘南しんきんにご理解とご支援を賜れば幸いに存じます。

湘南しんきんの概要（2026年3月31日現在）

| | | | |
|-------|-------------------|---------|--------------------------|
| 名 称 | 湘南信用金庫 | 預金積金残高 | 1兆3,351億円 |
| 本店所在地 | 神奈川県横須賀市大滝町2丁目2番地 | 貸出金残高 | 7,755億円 |
| 理 事 長 | 鷲尾 精一（わしお せいいち） | 役 職 員 数 | 667人 |
| 設立年月日 | 大正13（1924）年3月10日 | 店 舗 数 | 47店舗 （本支店46店舗 出張所1店舗） |
| 出 資 金 | 250億円 | 店舗外ATM | 28か所 |
| 会 員 数 | 52,682名 | | |

2025年度決算の概況

湘南しんきんの2025年度（2025年4月～2026年3月）における決算概況についてご報告します。なお、本ミニレポートは、当金庫の経営内容をいち早くお知らせするために掲載情報を絞り込んでいます。より詳しい計数を掲載した「ディスクロージャー誌」は7月中旬に公表しますので、是非ご覧ください。

2025年度は、日本銀行が進めてきた金融正常化の流れが一段と進み、長年続いた大規模金融緩和からの転換がより明確になった1年でした。物価と賃金の上昇が定着しつつあり、経済全体としては引き続き前向きな動きが見られました。

日経平均株価は、米国の関税措置に伴う景気後退懸念を背景に一時的に落ち込む場面も見られましたが、同措置の緩和や半導体関連需要が旺盛なこと等によって市場が活況となり2月には当時最高値の58,850円を記録しました。しかし、中東情勢の悪化に伴い世界経済の減速感が強まったことにより、3月末は51,063円で着地しています。

主要計数についてご説明します。預金積金は、年金定期預金の商品改定や夏冬の特別金利定期預金を実施したこと等により、個人預金が増加し、前期末比83億円増加の1兆3,351億円となりました。貸出金は、事業性融資やフリーローンの取り組み

等により同16億円増加の7,755億円となり、預金と貸出金はともに最高残高を更新しました。

収益では、貸出金利息が短期プライムレート改定による貸出金利回りの上昇等により前期比16億58百万円増加の151億62百万円となりました。余裕資金運用利息は、資金の効率的かつ安全な運用を行い、同10億56百万円増加の34億8百万円となりました。以上の結果、業務収益は同28億47百万円増加の206億81百万円で着地しました。

費用では、預金利息が店頭表示金利の引上げや夏冬の特別定期預金の販売等に伴い、前期比18億71百万円増加の29億64百万円となりました。国債等債券売却損は、市場金利上昇による評価損拡大への予防等を目的として債券を売却し、同17百万円減少の10億34百万円となりました。経費全体では、システム利用料等が増加したことで、税金も含めて同1億円増加の99億93百万円となりました。以上の結果、業務費用は同18億64百万円増加の152億88百万円で着地しました。

これにより、業務純益は前期比9億82百万円増加の53億93百万円、当期純利益は前期比横ばいの32億18百万円で着地しました。

湘南しんきんの便利な各種ローン

湘南しんきんでは、お使いみちが自由な「フリーローン そよ風」をはじめ、窓口にご来店をいただかなくても、お申し込みから審査、契約締結までのお手続きをWEBサイト上で完結できる商品、「フリーローン モア」やカードローン「きゃっする500」等の品揃えもあり、大変ご好評をいただいております。

「フリーローン そよ風」



本店ローンセンター ☎ 0120-413-357

「フリーローン モア」



上大岡ローンセンター ☎ 0120-470-417

カードローン「きゃっする500」



(1) 預金・貸出金の状況

2026年3月末の預金積金残高は、年金定期預金の商品改定や夏冬の特別金利定期預金を販売したこと等により、前期末比83億円増加の1兆3,351億円となりました。貸出金残高は、事業性融資や個人向けのフリーローンへの取り組み等により、同16億円増加の7,755億円となり、預金、貸出金ともに過去最高残高を更新しました。

<預金積金・貸出金残高>

| | 2026年3月末 | 2025年3月末 | 増減 |
|--------|-----------|-----------|-------|
| 預金積金残高 | 13,351 億円 | 13,268 億円 | 83 億円 |
| 貸出金残高 | 7,755 億円 | 7,739 億円 | 16 億円 |

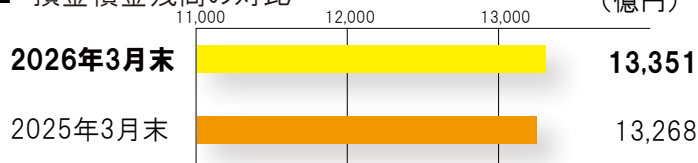
(注)増減欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。

<貸出金業種別の内訳>

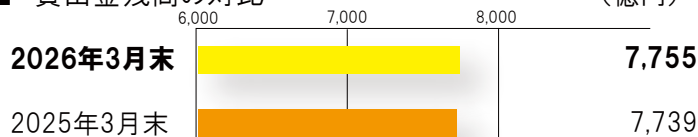
| | 2026年3月末 | |
|-----------------|----------|---------|
| | 貸出金残高 | 構成比 |
| 製造業 | 106 億円 | 1.3 % |
| 農業、林業 | 1 億円 | 0.0 % |
| 漁業 | 1 億円 | 0.0 % |
| 建設業 | 593 億円 | 7.6 % |
| 電気、ガス、熱供給、水道業 | 23 億円 | 0.3 % |
| 情報通信業 | 22 億円 | 0.2 % |
| 運輸業、郵便業 | 77 億円 | 1.0 % |
| 卸売業、小売業 | 381 億円 | 4.9 % |
| 金融業、保険業 | 100 億円 | 1.2 % |
| 不動産業 | 2,914 億円 | 37.5 % |
| 物品質貸業 | 7 億円 | 0.0 % |
| 学術研究、専門・技術サービス業 | 79 億円 | 1.0 % |
| 宿泊業 | 91 億円 | 1.1 % |
| 飲食業 | 310 億円 | 3.9 % |
| 生活関連サービス業、娯楽業 | 242 億円 | 3.1 % |
| 教育、学習支援業 | 49 億円 | 0.6 % |
| 医療、福祉 | 178 億円 | 2.3 % |
| その他のサービス | 183 億円 | 2.3 % |
| 小計 | 5,365 億円 | 69.1 % |
| 個人 | 2,113 億円 | 27.2 % |
| 地方公共団体 | 276 億円 | 3.5 % |
| 合計 | 7,755 億円 | 100.0 % |

(注)構成比は、小数点第2位以下を切り捨てて表示しています。

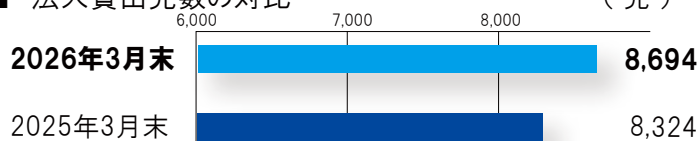
■ 預金積金残高の対比 (億円)



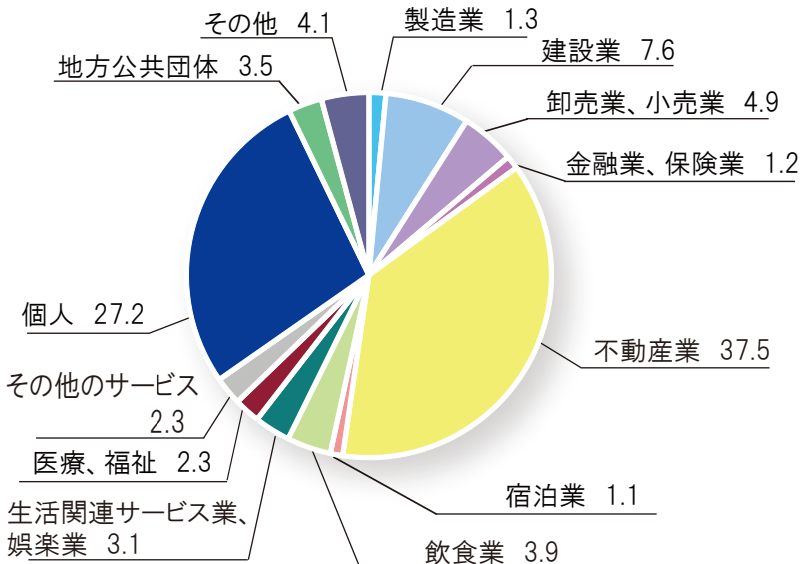
■ 貸出金残高の対比 (億円)



■ 法人貸出先数の対比 (先)



■ 貸出金業種別の内訳 (%)



(2) 損益の状況

2025年度の損益の状況について、業務粗利益は前期比10億円増加の152億円となりました。

本業の収益力を示す実質業務純益は同9億円増加の52億円、臨時収益・臨時費用(不良債権の引当など)を加減算した経常利益は同3億円増加の38億円となりました。特別利益・特別損失を加減算し、税金などを差引いた当期純利益は前期比横ばいの32億円となりました。

| | | 2025年度 | 2024年度 | 増減 |
|------------------------|-------------|--------|--------|-------|
| 業務粗利益 | (A) | 152 億円 | 142 億円 | 10 億円 |
| うち国債等債券関係損益 | (B) | △10 億円 | △10 億円 | 0 億円 |
| 経費 | (C) | 99 億円 | 98 億円 | 1 億円 |
| 実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前業務純益) | (D)=(A)-(C) | 52 億円 | 43 億円 | 9 億円 |
| コア業務純益 | (E)=(D)-(B) | 63 億円 | 54 億円 | 9 億円 |
| コア業務純益(投資信託解約損益を除く) | | 63 億円 | 54 億円 | 9 億円 |
| 一般貸倒引当金繰入額 | (F) | △1 億円 | 0 億円 | △1 億円 |
| 業務純益 | (G)=(D)-(F) | 53 億円 | 44 億円 | 9 億円 |
| 経常利益 | | 38 億円 | 35 億円 | 3 億円 |
| 当期純利益 | | 32 億円 | 32 億円 | 0 億円 |

(注)増減欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。

(3) 自己資本の状況

2026年3月末の自己資本比率は、前期末比0.51ポイント上昇し7.05%となりました。継続的な収益確保により利益剰余金が堅調に増加しており、財務の健全性を確保しています。

<自己資本比率の内訳>

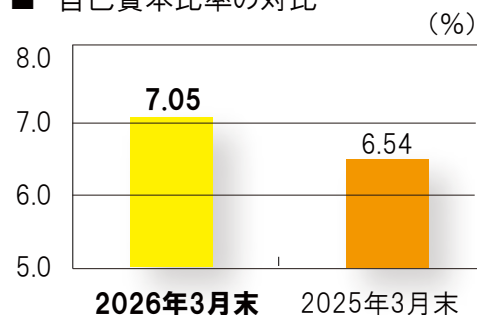
| | | 2026年3月末 | 2025年3月末 | 増減 |
|-----------|---------|----------|----------|---------|
| 自己資本の額 | (A) | 419 億円 | 391 億円 | 28 億円 |
| リスク・アセット等 | (B) | 5,941 億円 | 5,985 億円 | △44 億円 |
| 自己資本比率 | (A)/(B) | 7.05 % | 6.54 % | 0.51 pt |

(注)1.自己資本比率は、円単位による計算結果を表示しています。

2.増減欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。



■ 自己資本比率の対比



用語のご説明

● 自己資本比率は、地域のお客さまからの出資金および過年度の利益を元とした利益剰余金等により構成される自己資本の額を分子とし、分母となるリスクアセット等(リスクのある貸出金や有価証券等の資産をリスクの大きさに応じて再評価した資産金額)に対する割合のことで、経営の健全性を示す重要な指標であり、国内基準は4%以上とされています。

(4) 不良債権の状況

2026年3月末の不良債権額は、前期末比37億円減少の374億円となりました。これにより、不良債権比率は同0.48ポイント低下し4.82%となりました。

<信用金庫法開示債権および金融再生法開示債権の保全状況>

| | | 2026年3月末 | 2025年3月末 | 増減 |
|--------------------|-------------|----------|----------|---------|
| 正常債権 | (A) | 7,394 億円 | 7,342 億円 | 52 億円 |
| 不良債権 | (B) | 374 億円 | 411 億円 | △37 億円 |
| 破産更正債権およびこれらに準ずる債権 | | 111 億円 | 104 億円 | 7 億円 |
| 危険債権 | | 258 億円 | 304 億円 | △46 億円 |
| 要管理債権 | | 4 億円 | 2 億円 | 2 億円 |
| 三月以上延滞債権 | | 1 億円 | 0 億円 | 1 億円 |
| 貸出条件緩和債権 | | 2 億円 | 1 億円 | 1 億円 |
| 合計 | (C)=(A)+(B) | 7,769 億円 | 7,753 億円 | 16 億円 |
| 不良債権比率 | (B)/(C) | 4.82 % | 5.30 % | △0.48pt |
| 保全額 | (D) | 286 億円 | 294 億円 | △8 億円 |
| 保全率 | (D)/(B) | 76.42 % | 71.55 % | 4.87 pt |

(注)1.不良債権比率および保全率は、円単位による計算結果を表示しています。

2.増減欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。

用語のご説明

● 保全額・保全率とは、担保・保証等により回収が見込まれる部分と、貸倒引当金によってカバーされている部分の両者により、不良債権が保全されている金額・比率をいいます。

(5) 有価証券の状況

2026年3月末の保有有価証券の評価損益は、日本銀行の金融政策の動向と世界的な政治や経済への不透明感、インフレーションや財政拡張懸念が意識されたこと等から金利が上昇傾向となった結果、債券価格の下落が継続し含み損となりました。

| | 2026年3月末 | | | |
|------------------|----------|-------------|-----------|---------------|
| | 貸借対照表計上額 | 帳簿価額 (A) | 時価 (B) | 差額 (B)-(A) |
| 保有有価証券 | 2,552 億円 | 2,634 億円 | 2,422 億円 | △212 億円 |
| 債券 (国債・地方債・社債) | 2,351 億円 | 2,435 億円 | 2,226 億円 | △209 億円 |
| 株式 | 3 億円 | 1 億円 | 3 億円 | 2 億円 |
| その他 (外国証券・投資信託等) | 197 億円 | 197 億円 | 192 億円 | △5 億円 |

(注)1. 差額欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。

2. 時価は、期末日における市場価格等に基づいています。

3. 債券の評価損については、満期に元本が償還されることで解消されます。

2026年度の事業計画

- 当金庫は、基本姿勢「BESTを尽くす」を掲げ、物事の本質を見極め、均衡（Balance）を図りながら、力強さ（Energy）とスピード感（Speed）を持ち、機を見て（Timing）果敢に行動してまいります。そして、個人のお客さまへの新NISA等を活用した資産形成のお手伝い、資源価格高騰や人手不足によって多大な影響を受けている事業者向けの本業支援など、皆さまが抱えている課題の解決と地域の活性化に向けた取り組みを2026年度も役職員一丸となって実践してまいります。
- 今年度の数値目標として、事業性融資およびフリーローンをはじめとする消費者ローンの積極的な推進により「コア業務純益62億円」、「当期純利益30億円」の達成を目指してまいります。

■ 2026年度の事業計画

| | |
|--------|------|
| コア業務純益 | 62億円 |
| 当期純利益 | 30億円 |

(注)上記数値は、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は経営環境の変化等により異なる場合がございます。

トピックス

ビジネスカジュアルを導入しました

社会意識の変化や役職員の多様性・自立性を尊重し、組織の活性化および働き方改革の推進を図るとともに、「仕事はスーツ」といった固定観念にとらわれない柔軟な発想や行動を促し、新たな組織風土を醸成することを目的に「ビジネスカジュアル」を導入しました。役職員は、清潔感のある服装・身だしなみとなるよう心がけています。

お客さまや役職員からは、「見た目も雰囲気も明るくなった」「季節感のある服装で気分も変わった」との声が寄せられています。

今後も役職員が能力を最大限発揮できる職場づくりを進め、当金庫のあるべき姿「地域と共に成長し、みんなを笑顔にする信用金庫」を目指してまいります。



地域の事業者の新たな挑戦を支援しています



戦後の横須賀で作られた「スカジャン」は、職人の手仕事による品質の高さが魅力の一つです。しかし、昨今は担い手不足が深刻であり大きな課題となっています。

当金庫取引先の事業者は、この課題解決に取り組むためにプロジェクトを企画しました。当金庫は事業計画書の作成を中心に営業店・本部が一体となって取り組みました。

このプロジェクトは、ビジネスオー디션で金賞を受賞するなど外部からも高く評価されています。今後も挑戦する事業者に寄り添った支援を行い、地域の逸品を次世代につなぐことができるよう取り組んでいきます。

マネー・ローンダリング対策にご協力を

当金庫は、多発・多様化するマネー・ローンダリングや口座不正利用等の金融犯罪に対して、直面するリスクに応じて様々な対策を実施しています。ご理解とご協力をお願いいたします。

湘南信用金庫 総合企画部

〒238-8616 神奈川県横須賀市大滝町2丁目2番地

TEL046-825-3385

<https://www.shinkin.co.jp/shonan/>

2026年6月発行

